ねんきんだより Pensions News

前納・早割がお得！国民年金保険料

前納・早割を利用すると、国民年金保険料が割引されます。前納には６か月前納、１年前納、２年前納があり、口座振替・現金・クレジットカード納付が可能です。納付方法により割引額が変わります。口座振替２年前納で１６，０００円程度の割引となります。前納をお申し込みいただいた場合、前納分の振替の際に、初回振替日の属する月の前月分をまとめて振替します。前納による納付期間中に、会社などへ勤務し、厚生年金保険に加入された場合は、未経過期間の国民年金保険料は還付されます。

また、国民年金保険料の納付期限は翌月末ですが、当月末に口座振替する方法のことを早割といいます。早割は月60円割引されます。

オンラインでの申込みは、マイナポータルのねんきんネットから、郵送、窓口での申し込みは、お近くの年金事務所や役場で手続きが可能です。

○年金加入者ダイヤル
☎０５７０－００３－００４

問合せ　太田年金事務所 ☎４９－３７１６

検針票は見せないで！電気の契約切り替えトラブル

【事例】

契約中の大手電力会社の代理店を名乗る人が突然訪問し「電気代が安くなる。電気の検針票を見せてほしい」と言われ、理解しないまま申込書に署名し供給地点特定番号を書いてしまった。書面はなく、内容がよく分からないので解約したい。どう対応したらよいか。（当事者：70歳代　男性）

【ひとこと助言】

電気の契約を切り替えると電気代が安くなると勧誘されても、料金プランや算定方法などをしっかり説明してもらい、自分に合っているかよく検討することが大切です。周りの人に相談するのもよいでしょう。

大手電力会社などを名乗るケースがみられます。実際の契約先はどこになるのか、事業者名や連絡先をよく確認しましょう。

電力会社などは、検針票に記載されている顧客番号や供給地点特定番号などにより契約を行っています。記載情報を元に勝手に契約を切り替えられるケースもあるため、安易に教えないようにしましょう。

クーリング・オフができる場合もあります。困ったときは、消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　☎８２－７８３０（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系			外科系	耳鼻科
2月2日(日)	大泉町泌尿器科内科 ６３－７８００	長谷川クリニック ８０－３３１１		小曽根整形外科 ７２－７７０７	川田耳鼻咽喉科医院 ７２－３３１４
2月9日(日)	みづほクリニック ２０－１１２２	うえの医院 ７２－３３３０		澤田皮膚外科 ７０－７７０３	－
2月11日(火)	ましも内科・胃腸科 ６２－２０２５	ハートクリニック ７１－８８１０	こやなぎ小児科※ ８０－２２２０	堀井乳腺外科クリニック ５５－２１００	－
2月16日(日)	かさはら内科医院 ５５－２５３７	堀越医院 ７３－４１５１		富士クリニック ペインクリニック ２０－１９７１	川村耳鼻咽喉科医院 ７２－１３３７
2月23日(日)	湯沢医院 ６２－２２０９	ごが内科楡クリニック ７３－７５８７	多々良診療所 ７２－３０６０	しんじょう整形外科クリニック ５５－３６２３	－
2月24日(月)	新井内科クリニック ２０－１２２０	森下内科医院 ７３－７７７６	小児科おぎわらクリニック※ ６１－１１３３	川島脳神経外科医院 ７５－５５１１	－
3月2日(日)	いたくら内科クリニック ７０－４０８０	阿部医院 ６２－５４２８		岡田整形外科クリニック ７２－３１６３	板倉耳鼻咽喉科クリニック ８０－４３３３

歯科

館林邑楽歯科保健医療センター
７３－８８１８
午前９時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院（内科系・外科系）　☎７２－３１４０
◆コロナに関すること　館林保健福祉事務所 ☎７２－３２３０（平日午前８時30分～午後５時15分）
群馬県新型コロナウイルス感染症受診相談センター　☎０５７０－０７０－５６７（館林保健福祉事務所の受付時間外）
◆夜間　館林市夜間急病診療所（内科・小児科）午後７時～10時（日・祝、年末年始除く）
☎７３－２３１３（要受診前電話連絡）

●診療時間は、午前９時～午後５時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前９時～午後１時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。

Face フェイス

和太鼓の演奏者

譜面が読めない人でもできるのが太鼓の魅力

増田　雅紀さん

ますだ　まさき
岩田在住

休みの日は家族で外食に行くのが楽しみで、おすしのエビが大好物だそうです。

太鼓との出会い

館林市に生まれ、お父様がお祭り好きだったこともあり、幼い頃からお母様とおみこしを見に行っていたそうです。小学４年生から子ども会でおはやしを始めましたが、中学生になってからは部活動に集中していました。そして高校生の時に増田さん自身もおみこしを担ぐようになりました。20代半ばで館林市の公民館で開催された太鼓教室に参加し、その後太鼓サークルの達和会に入りました。

太鼓の魅力

多くの楽器には譜面があるのですが、太鼓には譜面がありません。口伝（くでん）といって「ドンドコドコドコ」のように口で曲を伝えていきます。譜面が読めない人でもできるところが魅力の一つだと言います。また、達和会では１人で演奏することはほとんどなく複数人での演奏となり、チームワークの大切さを感じるそうです。さらに各地のお祭りや芸能発表会などのイベントに毎年出演し、そこで出会った人たちに再会できることを楽しみにしているとのことです。コロナ禍では活動する機会が減っていたそうですが、改めてお祭りができることは幸せなことだと感じていると語っていました。

今後の目標

最近、しの笛を始めたそうです。最初はなかなか音を出すことができなかったそうですが、練習を積み重ねていくなかで、何とか音が出せるようになったそうです。「太鼓も、しの笛も奥が深く、まだまだなのでこれからも精進していく」と力強く語ってくれました。

最後に、家族で酒屋を営む増田さんが「長く活動ができたのも家族の協力があったからこそ」と、家族への感謝も忘れません。これからも長く太鼓を頑張っていきたいという増田さんの活躍に期待したいと思います。

レポーター
広報編集委員
小島重雄（こじましげお）